

## S-P表の概要

S-P（エス・ピー）表とは、全国学力・学習状況調査の結果を、学校や学級単位で、縦と横がそれぞれ児童生徒（S：Student）と設問（P：Problem）の正答数の多い順に並べ替えた表の中に、**S曲線（青）**と**P曲線（赤）**を書き入れたものであり、これを活用することにより、平均正答率だけでは把握できない、学校や学級全体の課題の傾向や、個々の児童生徒が理解していない可能性が高い設問を見つけ出すことができる。

## S-P表の見方（別紙「S-P表の見方」参照）

- 児童生徒の個人番号は、正答数の多い順に、上から下へ並べたもの。
- 問題番号は、全国正答率の高い順に、左から右に並べたもの。
- 個人番号と問題番号が交差する欄には、全国学力・学習状況調査の各設問の解答類型を、誤答の場合には色付きセルで記入したもの。
- 各設問について、表の左からそれぞれの児童生徒の正答数だけマス目を数えたところに、区切りの線を書き入れ、全ての児童生徒の区切りの線と結ぶと**S曲線（青）**が出来上がる。
- 各設問について、表の上からそれぞれの設問の正答数だけマス目を数えたところに、区切りの線を書き入れ、全ての設問の区切りの線と結ぶと**P曲線（赤）**が出来上がる。なお、全国正答率を赤点線で表示している。

➡ S曲線の位置からは児童生徒の達成水準が、形からは達成度の分布を読み取れる。  
P曲線の位置からは調査問題の正答率が、形からは設問毎の難易度がわかる。  
S曲線とP曲線の形状や離れ具合を見ることで全体の課題がわかる。

# 学校/学級別解答状況整理表（S-P表）の活用方法について

## 活用方法

- ①全国的な傾向との比較
- ②学校・学級ごと、児童生徒ごとの「重点的に指導すべきと考えられる設問」の把握等により、学習上の課題を明らかにし、教育指導の改善・充実に活用

問題番号	1	6	8イ	8ウ	4	3	8ア	2	8エ	7	8オ	5
領域等	A	D	D	D	C	C	D	B	D	D	D	D
問題の概要	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	慣用語の意味と使い方として適切なものを選択する（心を打たれる）	文の中で漢字を使う（せつ構）	文の中で漢字を使う（しょう毒）	『くちみやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	文の中で漢字を使う（せい遠）	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	文の中で漢字を使う（かん理）	【話を聞いている様子の一部】の【ア】に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	文の中で漢字を使う（せつ構）	【春休みの出来事の一部】の中で、点線部と実線部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す

③「重点的に指導すべきと考えられる設問」の把握例：  
S曲線（青線）より右側の誤答（灯色セル）に着目

②「重点的に指導すべきと考えられる設問」の把握例：  
S曲線（青線）より左側の誤答（黄色セル）に着目  
→当該児童生徒にとって比較的解答が容易だったと考えられ、不注意による誤答や比較的克服が容易なものとして想定される設問

①全国的な傾向との比較例：  
P曲線（赤実線）が全国平均（赤点線）より上にある設問に着目  
→当該学校・学級の正答人数の割合が、全国正答率よりも低かった設問（誤答内容からどこでつまづいているかに注目し分析することが重要）

問題番号	1	6	8イ	8ウ	4	3	8ア	2	8エ	7	8オ	5	正答数	正答率
全国（公立）正答率	90.9	90.5	82.2	82.2	74.2	73.8	64.0	64.0	64.0	58.1	33.9	33.9		
解答類型（“0”は無解答を表す）														
1 40472825	1	1	1	2	2	1	2	2	3	4	1	7	11	91.7
1 50432077	1	1	1	2	2	1	2	3	4	3	1	1	11	91.7
1 70180481	1	1	1	2	2	1	2	3	2	1	1	1	11	91.7
1 70054950	1	1	1	2	2	1	3	2	3	4	1	3	10	83.3
1 40271603	1	1	1	2	2	1	2	1	3	4	1	8	10	83.3
1 10078539	1	1	1	2	2	1	2	2	3	2	1	2	10	83.3
1 30444896	1	1	99	2	2	1	2	2	3	4	1	6	10	83.3
1 50274829	1	1	1	2	2	1	2	2	3	4	2	6	10	83.3
1 60658834	3	1	1	2	2	99	2	2	3	2	1	7	8	66.7
1 10431395	1	1	1	2	3	1	3	2	3	4	3	7	8	66.7
1 20326681	1	1	0	2	2	1	2	2	1	4	3	6	8	66.7
1 40257169	1	1	1	2	3	1	3	2	2	3	2	1	7	58.3
1 60206942	1	1	1	2	3	1	1	3	2	2	1	5	6	50.0
1 40040351	1	1	1	2	4	99	3	2	2	4	3	5	6	50.0
1 50963965	1	1	0	0	2	1	0	1	0	2	0	2	4	33.3
1 10418956	1	0	0	0	3	1	0	2	0	0	0	8	3	25.0
1 20725947	3	0	0	0	1	99	0	2	0	0	0	7	1	8.3

左から右へ、全国正答率の高い順に問題番号を記載

問題番号	2 (1)	3 (2)	2 (3)	3 (1)	1 (1)	4 (1)	1 (2)	4 (3)	4 (2)	2 (2)	1 (3)	5 (1)	3 (3)	5 (2)
領域	A	C	A	C	D	B	D	B	B	A	D	D	C	A
問題の概要	はじめの数が10のときの計算結果を求める	グラフから、列車のすれ違いが起ころ地点のA駅からの道のりを求める	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果となるかを求める	列車の運行のようすが連続で表されていることの前理と事柄を選ぶ	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める	証明されたことから、新たなことを選ぶ	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める	平行四辺形ABCDの対角線ACとBDが交点E、Fを取ったときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることを説明する	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲が引かれる理由を確率を用いて説明する	S社の団体料金をが通るようになってを求め書く	A駅からの遠	通常料金をa
全国（公立）正答率	89.0	76.7	67.3	68.2	54.3	54.0	41.8	41.0	40.5	35.8	34.8	14.7	12.0	9.2
正答人数の割合	80.0	68.0	56.0	52.0	64.0	56.0	56.0	20.0	32.0	36.0	33.0	28.0	15.0	4.0
正答人数	20	17	14	13	16	14	14	5	8	9	7	3	1	

**P曲線:**  
問題ごとに、上から数えて当該学校／学級の正答人数の数にあたる所を結んだ線

例) 該当設問の正答人数が「9名」なので、上から9人目のところに横線が引かれる

上から下へ、正答数の多い順に児童生徒を記載

学年	組	答案番号	氏名記入欄	付記欄	解答類型（“○”は無解答を表す。）										正答数	正答率					
3	1	0863202			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	8	13	82.9	
3	1	0863210			1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	6	8	13	82.9	
3	1	0863218			1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	9	9	3	7	11	78.8	
3	1	0863205			1	1	1	1	1	1	1	7	1	8	8	8	7	3	10	71.4	
3	1	0863206			1	1	1	1	1	1	1	7	1	0	1	1	7	6	10	71.4	
3	1	0863202			1	1	1	1	1	1	1	7	2	1	3	1	7	8	10	71.4	
3	1	0863198			8	1	1	1	1	1	1	7	1	8	9	1	7	7	9	64.3	
3	1	0863204			1	1	4	4	1	1	1	8	1	8	3	1	12	7	9	64.3	
3	1	0863208			1	1	4	1	1	1	1	1	2	8	8	8	8	8	9	64.3	
3	1	0863213			1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	8	6	6	9	10	7	50.0
3	1	0863227			1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	8	9	9	12	9	7	50.0
3	1	0863203			8	1	1	1	1	2	1	8	7	8	9	9	12	10	6	42.9	
3	1	0863226			1	1	1	1	8	3	1	8	7	9	9	9	1	9	8	6	42.9
3	1	0863201			1	1	2	1	8	1	5	0	6	0	8	0	0	9	5	35.7	
3	1	0863217			1	1	4	2	1	3	8	0	7	0	7	0	4	0	0	4	28.8
3	1	0863220			1	1	4	4	8	1	3	7	7	7	0	4	9	0	9	4	28.8
3	1	0863224			1	8	4	2	1	3	9	0	2	9	2	8	0	10	3	21.4	
3	1	0863200			1	2	1	2	1	2	9	0	7	9	6	0	9	10	3	21.4	
3	1	0863199			1	0	2	4	3	3	1	0	3	0	0	0	0	9	3	21.4	
3	1	0863211			1	1	5	4	8	4	0	8	3	3	3	3	2	2	14.3		
3	1	0863214			1	8	1	2	9	2	9	9	7	7	7	7	2	2	14.3		
3	1	0863216			3	4	4	4	1	2	9	0	3	3	3	3	3	2	14.3		
3	1	0863219			0	0	0	4	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	7.1	
3	1	0863225			8	0	4	4	9	1	9	0	8	0	0	0	0	0	1	7.1	
3	1	0863209			8	2	4	2	0	2	0	0	7	0	0	0	0	9	0	0.0	

全国正答率  
※小数点第1位を四捨五入して表示

※数字は解答類型（“0”は無解答）  
※色付きセルは誤答（無解答含む）

※線が重なった場合は、以下の順で優先して表示される  
縦線: 青線 > 赤線 > 赤点線  
横線: 赤線 > 赤点線 > 青線

**S曲線:**  
児童生徒ごとに、左から数えて当該児童生徒の正答数の数にあたる所を結んだ線

例) 該当児童生徒の正答数が「4問」なので、左から4問目のところに縦線が引かれる

該当教科の全国正答率50%以上問題のうち、正答数が2分の1以下だった児童生徒の人数及びその割合(%)

高正答率分析対象	
人数	割合
23	< 18.1 >
	( 5.1 )
	( 5.7 )

<> 内は都道府県平均との差  
( )内は全国(公立)平均との差